

○ 動物検疫所の検疫事業費

【令和7年度予算概算決定額 1,741（1,758）百万円】
【令和7年度予算概算決定額（デジタル庁計上） 13,587百万円の内数】
（令和6年度補正予算額 455百万円）
（令和6年度補正予算額（デジタル庁計上） 5,754百万円の内数）

<対策のポイント>

アフリカ豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザ等の家畜の伝染性疾病が我が国に侵入しないよう、**動物検疫体制を充実強化**することにより、水際措置に万全を期します。

<事業目標>

家畜の伝染性疾病の侵入防止の徹底

<事業の内容>

訪日外国人の大半を占める中国等のアジア地域では、一度まん延すると発生地域の社会・経済活動に大きな影響を及ぼし得る家畜の伝染性疾病であるアフリカ豚熱、口蹄疫、鳥インフルエンザの発生が継続的に報告されています。

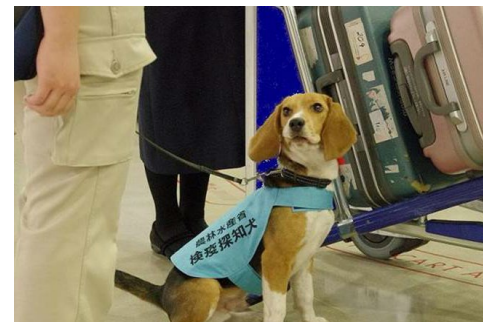
これらの地域を始めとする諸外国から**我が国へのアフリカ豚熱等の家畜の伝染性疾病の侵入リスクに適切に対応**するため、動物検疫所は、以下のとおり**動物検疫体制の充実強化**に取り組みます。

家畜の伝染性疾病の侵入防止（事務費）

動植物検疫探知犬140頭体制を維持し、国際郵便物や地方空港も含めた探知活動の充実、海外からの旅客の消毒が必要な物品の消毒により伝染性疾病の侵入リスクを低減するとともに、SNS等を活用した海外での情報発信、海外空港における周知強化等の**入国者への動物検疫制度の周知・広報活動**等を行います。

また、情報システムについて、7次NACCSを利用開始するとともに、デジタル庁のガイドラインに基づくUI（ユーザーインターフェース）の向上やMAFFクラウドへの移行を行います。

<事業イメージ>



<国際空港で活動する検疫探知犬>



<国際空港における旅客の靴の消毒>



<港における自転車消毒>



<空港における広報キャンペーン>

【お問い合わせ先】消費・安全局動物衛生課（03-3502-8295）